

[令和6年度事務事業]

I. 基本情報									
事業の位置付け									
1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～		施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上	
			有	取組の方向性	①危機対応力の強化				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
	無		現状値	—			目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画		施策 との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—
		無		取組	—				
寄与 する KPI		有・無	指標名	—					
	無	現状値	—			目標値	—		
2	関連計画			地域防災計画					
3	事業開始年度			令和 6 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠								
事業の概要									
5	事業の実施主体			一般社団法人堺市薬剤師会					
6	事業の対象			主に堺市民				対象数	単位
								約81万	人
7	事業の目的			大規模災害時に医薬品等を必要とする被災者に対して医薬品等を届け、迅速かつ的確に医療的救済を図ることを目的とする。					
8	事業内容			大規模災害が発生した場合において、被災者に対する迅速かつ確な医療的救済を図るため、必要とされる医薬品等を確保すること。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容								
9	主な支出先			一般社団法人堺市薬剤師会					
10	公民連携・協働事業								

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	災害時における医薬品等の安定的な供給						
	当該目標を設定した理由	災害時に必要な医薬品等を被災者等へ届ける必要があるため					
	目標に対する実績	本市が指定する医薬品等の備蓄・管理					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	医薬品等の備蓄率	%		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	—	100	100	
			実績値	—	100		
			達成率	—	100%		
当該指標を選定した理由	災害時に必要な医薬品等を備えておく必要があるため						
	目標値の設定根拠・算出方法	本市が指定する医薬品等の備蓄率					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	災害時救急医薬品等備蓄事業	事業番号	011-301
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	0	0	1,110	1,110	610
	財 国支出金	0	0			0
	源 府支出金	0	0	0		0
	内 市債	0	0	0		0
	記 その他（ ）	0	0	0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	0	0	1,110	1,110	610
14	人件費（b）	0	0	810	810	840
15	年間経費（c）=(a)+(b)	0	0	1,920	1,920	1,450

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	R7				R6	R7		
16	事業 費 内 訳	災害時救急医薬品等備蓄委託料		1,110	1,110		R6	決算		
				610	610		R7	予算		
							R6	決算		
							R7	予算		
							R6	決算		
							R7	予算		
							R6	決算		
							R7	予算		
							R6	決算		
							R7	予算		
							R6	決算		
							R7	予算		
							R6	決算		
							R7	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	①	医薬品等備蓄場所 箇所	0	2
	②	上記①にかかる年間経費 千円	0	1,920
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円） 円/単位	—	960,000
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	市内の薬局や卸売り一般業者を会員として有する一般社団法人堺市薬剤師会との委託により、適切な備蓄・管理につなげることができた。 引き続き同会と連携して事業を継続し、災害直後に迅速な医薬品等の供給を行い、都度災害の規模に応じた評価を実施していく。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	大規模災害や感染症パンデミック等有事の際に備え、災害直後に緊急的に必要となる医薬品等を現物確保しておくことが必要である。備蓄用医薬品等の確保とその管理を一般社団法人堺市薬剤師会に委託し、こども急病診療センター及び泉北急病診療センターで保管管理することにより、事業目的を達成するための必要最低限の医薬品等は確保できている。 近年、平時においても一部の医薬品等が品薄状態になることがある等の状況を踏まえ、災害時の医薬品等の不足に対する不安の解消に寄与している。
----	---